

現状と支援策は 長期間の支援を検討



やまさき まさお
山崎 正男 議員

問 少子化対策について、子どもが増えない問題は何か。若者の経済的な支援策や働く場の提供、本人が魅力を感じ意欲がわく条件が必要だが、現状はどうか。
新たな支援策はないか。

答 西村 企画調整室長
少子化の要因としては貧困化や晩婚化、出生率の低下が指摘されており、これらの背景にある仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや結婚出産に関する価値観の変化、経済的不安定の増大などが挙げられている。

答 大西 町長
子育て世代に対して一時的な支援よりも子育て期間中、切れ目なく長期間の支援ができる体制をつくるのが自分たちの目的にもなる。
提示案件については、しっかりと検討した上で方向性を出したい。

教育対策

**学校の予算
配分は十分か**
教育現場の
声を反映する

問 学校の予算は教育目標を達成するために年間予算枠を取って頑張っているが、各学校、校長関係とか各職員の中で予算が少ないということはないか、配分は十分にされているか。

答 藤本 教育次長

財源の確保などの問題から各学校の要望した経費の全てが予算化されることは困難だが、教育現場の声を反映した予算配分に努めている。特に学校が取り組みたい重点授業は自主性、自立性ある学校づくり、特色ある学校づくりの観点から学校の意向を取り入れた予算編成に取り組んでいる。

防災対策

**各地区の
対策は万全か**
課題解消に
取り組む

問 防災対策は常に気を抜くことなく進むのか。各地区の防災対策は万全か、地域からの新たな要望状況はどうか。来年度を見据えた課題はあるか。

答 徳廣 情報防災課長

命を守る避難への要援護行動、要支援者への対策や命をつなぐ避難後の避難場所、避難所の環境整備等課題も多く、その解消に向けこれからも取り組みを進めていく必要がある。

入野松原

**どんな景観を
目指すか**
後世に
伝え残すこと

問 松原再生に向けて現状と今後の対策を問う。
どんな松原やどんな景観を目指すのか。

答 門田 産業推進室長
入野松原保存会の活動

を受けて、町では入野松原植栽美化実施要項を策定し、植栽、維持管理、育林、清掃、点検を関係部署や関係機関と連携し取り組んでいる。

生活、文化、観光の根幹をなす町民の心のふるさとシンボルでもある入野松原の先人の偉業を讃え、これを守り育て、後世に伝え残すことが、目指す入野松原保全の姿である。



入野松原の現状